

移動販売車等による新鮮野菜の販売

なごや農協(愛知県)

取組の背景

- なごや農協は名古屋市一円を事業区域とする農協であり、これまで都市農業の振興を図るとともに、優良農地の保全と利用、営農環境の保持等に取り組んできた。
- 管内は大消費地でもあるため、新鮮な野菜を消費者に供給する手段を模索するも、産直施設を開設するには生産者が少なく設備投資の費用対効果が低いことや端境期対策が問題となった。

取組の概要

- 平成28年3月に移動販売車を導入し、名古屋駅近くで開催したマルシェを皮切りに、市内各地で新鮮な「なごやさい(※)」のPRと販売を開始。
(販売する野菜は組合員から全量買取)
(※)「なごやさい」:名古屋市内の生産者が生産された野菜。
(なごや農協が商標を登録。)
- 今後は保冷機能と陳列機能を兼ね備えた新たな車両の導入や物流への活用等、更なる取組の拡大を計画。
- なお、量販店でのインショップの展開やJAフェアの開催、各支店での朝市や支店での移動販売の開催にも力を入れ、組合員の所得向上に取り組んでいる。
(JAフェアで販売する農産物は組合員から全量買取)



成果

移動販売車による農産物販売	初年度(28年度)	29年度	30年度(目標)	31年度(目標)
出店回数	2回	19回	60回	75回
これまでの主な出店先	大名古屋ビルヂング、メイカーズピアみのりみのるマルシェ、大高緑地マルシェ、ささしまライブのまちびらきイベント 等			
販売した農産物	ミツバ、レタス、ネギ、ブロッコリー、トマト、スイートコーン、ほうれん草、農協6次化商品 等			

	27年度	28年度	29年度
インショップ販売額	3,062 万円	6,471 万円	6,304 万円
JAフェア販売額	—	434 万円	492 万円